



人権教室用教材一覧表☆小学3, 4年生☆

札幌人権擁護委員協議会（2020.12.22更新）

★所要時間は、各校が予定している授業時間に合わせます。

No.	教材・対象学年	内容・実施の流れ	ねらい
1	パネルシアター 「ねずみくんのきもち」 対象 小学3年生 	内容 小さくておくびょうで失敗ばかりのねずみくん。 今日も、ねこくに意地悪されてメソメソしているねずみくんは、ふくろうさんに「お互いに思いやることが大切」だと教えられ、みんなが助け合って生きていくこと、体が小さくても心は大きくなれること、みんな違うから素晴らしいことに気がつきます。 実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①パネルシアター上演, ②話合い, ③自分の得意をワークシート記入し発表する。 ※上記実施の流れは一例であり、参加児童数、所要時間等によって変わります。	仲良しであることは、楽しく嬉しいこと、みんなの笑顔は幸せにつながることを理解させ、自分を大切にするとともに、相手を思いやる豊かな心を育てる。
2	紙芝居 「ずっと ともだちでいたいから」 対象 小学2・3年生 	内容 三羽のカラスは、スズメと遊ぶ仲間のカラスがうらやましいのですが、それをうまく伝えることができず、スズメを「小さい＝弱いもの」として、理由なくからかったり、いじめたりします。 スズメは、理由のないいじめに悩み傷つきますが、「ずっと、ともだちでいたい」という思いから、自分の気持ちをはっきりと伝えます。 また、三羽のカラスは、いじめの認識がなく遊びの延長であっても、他人を傷つけてはいけないことに気づきます。 実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①紙芝居の上演, ②内容の振り返りと話合い, ③考えたことの発表 ※上記実施の流れは一例であり、参加児童数、所要時間等によって変わります。	遊びのつもりでも、相手が嫌だと思うことをすればいじめにつながることを理解させ、「相手の気持ちになって思いやる心」の大切さを感じとってもらう。

No.	教材・対象学年	内容・実施の流れ	ねらい
3	紙芝居 「かおりちゃん がんばれ！」 対象 小学3年生 	内容 キックボールのチームには、体が弱くて上手く走れないかおりちゃんがいます。哲夫君はチームの人数を増やしてほしいと先生に言いますが、先生は、みんなで頑張ろうと提案します。 かおりちゃんのために一人ひとりが頑張ることを決めたチームメイト、人一倍頑張って練習したかおりちゃん、チームのみんなは一人ひとり頑張ったうれしさでいっぱいです。 実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①紙芝居の上演, ②内容の振り返りと話し合い, ③かおりちゃん宛てに書いた手紙の発表 ※上記実施の流れは一例であり, 参加児童数, 所要時間等によって変わります。	相手への思いやりやいたわりの気持ちの大切さを気づかせる。 一人ひとりが, 自分のためではなく, 相手のため, みんなのために頑張ることの大切さに気づかせる。
4	DVD 「勇気あるホタルととべないホタル」 対象 小学3年生 	内容 羽が縮んで生まれてきたために飛べないホタル, そのホタルを励まし助け合うホタル, 体の不自由な妹のためにホタルを取りにやってきた姉と弟。ホタルと子どもたちとのふれあいを通して, やさしさと思いやりの大切さについて考えます。 実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①DVDの視聴, ②話し合い, ③登場するキャラクターの気持ちを整理する, ④発表 ※上記実施の流れは一例であり, 参加児童数, 所要時間等によって変わります。	①勇気ある行動, ②やさしさ, ③思いやりの心, ④助け合い, 励まし合いの心の大切さを考える。

No.	教材・対象学年	内容・実施の流れ	ねらい
5	紙芝居 「わたしのせいじゃない」 対象 小学4年生 	内容 クラスで一人の男の子が泣いています。同級生はそれぞれ「わたしのせいじゃない」といいつつ行動し、泣いてる子が「どうして泣いているのか」ということは考えていません。 「わたしのせいじゃない」と言えば何をしてもしも良いの？ ※絵本「わたしのせいじゃない・せきにんについて」(レイフ・クリスチャンソン著)を使ったワークショッププログラムです。 実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①紙芝居の上演, ②ワークシートに意見を記入, ③意見発表 ※上記実施の流れは一例であり, 参加児童数, 所要時間等によって変わります。	自分を大切にする心, 相手を思いやる豊かな心を育てる。 人それぞれに, 感じ方, 考え方に違いがあることを理解する。
6	DVD 「みーつけた！」 対象 小学4年生 	内容 思ったことを上手く表現することが出来ない内向的な性格の坂本さんは, クラスメートから無視されていた。クラスメートは, 坂本さんを飼育委員長にし, ウサギの世話を押しつける。 ある日, 坂本さんは病気で学校を休み, 仕方なく, ウサギの世話をするようになったクラスメートは, これまで坂本さんが一人でしてきた仕事の大変さに気づき, 坂本さんに対する思いや見方が変わり始める。 実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①DVDの視聴, ②登場人物が気づいたことをワークシートに記入, ③発表 ※上記実施の流れは一例であり, 参加児童数, 所要時間等によって変わります。	自分を表現することの大切さ, お互いを認め合うすばらしさを知るとともに, 相手を思いやる豊かな心を育てる